

第2回 第三次多摩市子ども読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 平成30年11月22日（木）午後1時30分～3時30分

場 所 多摩市立図書館 本館 講座室

出席団体

おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ
ひなの会、もりの文庫

欠席団体

ひなたぼっこ

開会

（資料の確認）

1 報告事項

（1）「第1回 第三次多摩市子ども読書活動推進市民ボランティア連絡会要点録案」の
確認

（事務局説明）

事前送付したものに修正があれば、ここで発言いただき了承が得られたものを確定とする。確定したものは後日、行政資料室に資料とともに設置する。またホームページにも掲載する。会長、副会長との発言は会長、副会長と表記するが、一委員としての発言は委員と表記する。

（複数の委員から、修正の発言あり）

（事務局）

本日欠席の「ひなたぼっこ」に団体該当部分のみ確認をとって、確定とする。第2回以降は、要点録であることから主な意見を掲載した簡略化したまとめ方にしたい。今回のような細かい部分までは残らない。

（委員からの主な意見、質問等）

- ・簡略化はよいが、どういう意見があったのかが分かるものにしてほしい。批判的な意見も分かる記録にしておいてほしい。時がたてば大切な部分となる。
- ・話し合いの過程が分かるようなまとめ方であればよい。
- ・前回の要点録が市民ボランティア連絡会で確認できるのであればよい。

(2) 子どもの読書活動推進に関する主な事業等について

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・今回から公開となった「わらべうた」の講座は個人としての申込みか？
→そうである。これまでは団体向けのレベルアップとしていたが今回から公開とする。なお今回に限り、ボランティア団体へは通知（ご案内）をする予定である。

(3) 第10回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について

(事務局) (資料(スケジュール表)に基づき説明)

- ・期間は2月28日(木)～3月31日(月)である。
- ・2月28日～3月3日(4日間)はグリナード永山で展示を行うが、2日と3日は場所的に人の往来が多いところなので、オープニングイベント的におはなし会をするのがよいと考え、協力についてのご案内文を(机の上に)配付させていただいた。
- ・会場でののご案内をしていただくボランティアについては、今回もお願いしたい。これについても依頼文を(机の上に)配付した。
- ・団体紹介用のパネルの更新、新規作成について、希望の団体は2月中旬までに新しいパネルをご提出願いたい。詳細はすみやかに別途通知する。
- ・講演会は前回説明したとおりである。
- ・本館の展示は、3月16日(土)～3月31日(日)(実質15日間)である。本館子ども図書室とそれまでの通路で行う。ティーンズコーナーは若干これまでとは変わる可能性がある。スペースの関係上、永山と同じ展示はできないと思う。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・オープニングおはなし会の協力依頼については、12月10日締切りであると団体で検討する時間がない。少し延ばしていただけないか？
→この会に参加していない団体へは郵送する準備をしているが、締切りを延ばすことにする。締切りは12月末とする。
- ・今後何か団体への協力依頼の回答については、約1ヶ月の期間をとってほしい。
- ・会場でのおはなし会は、演者は机やいすは使えないのか？
→演者は使える。よって、紙芝居はできる。
- ・人数としては何人ぐらいを考えているか？
→レイアウトは中央部分をあける形を考えているが、マットの枚数にもよるが、往來の人たちの中の聞いてもらえる方々に聞いてもらいたいと考えている。

- どういうふうなことを考えているかによって、内容も変わる。途中退場可なのか？
そうでないのか？
→会場の状況からいうと途中退場可となると考える。
- ちらっと聞いて帰るといっておはなし会は、おはなし会として成り立つのか？はじめから終わりまで聞いてほしい。道端での演芸とは違う。図書館として、おはなし会なのにそれでよいと考えているのか？基本姿勢として。
- 一日に何団体やるのか？
→両日、1～2回程度であればよいと考えている。人の往来が多いので、会場の特性を活かしたい。どのぐらいの団体にご協力いただけるかによる。ベルブ永山軽読書コーナーも悪くはないが、グリナード永山では人集めは不要であろうし、展示も見ることができる。今回は対象を絞り込めないで、たくさんの人に楽しんでもらうということを考えている。日ごろ図書館に来られない方へのアプローチを考えている。「ほんともフェスタ」は幅ひろく多くの子どもたちへ本の楽しさを伝えるという趣旨である。
- 1回やってみないと分からない。
- 応募してきた団体には、状況をよく説明する必要がある。
- オープニングというからにはちょっと派手にしないといけないのでは？
- 展示の案内ボランティアについてであるが、前回は風で掲示物がはがれたりした。突発的な事柄に対して相談したいので、交代の引継ぎ時には職員がいてほしいと思う。
→職員は3人しかいない。よってマニュアルの再確認をしたい。

(会長)

オープニングおはなし会については図書館としてはやる方向で考えており、団体へ協力依頼文を出すとのことなので、実際におはなし会をやっているメンバーから見ると、おはなし会の持ち方など疑問がある等の意見が出た、ということを経験してほしい。

2 情報交換及び次回の日程について

会長より、市民ボランティア連絡会の追加募集についての説明を求められる。

(事務局)

委員は随時募集ということになっているが、現在、広報は行っていない。その理由は、この会議の要点録等の公開がこれからなので、それが出来てから募集についてのPRをしたい。今年度の終わりぐらいを考えている。来年度の初回の会議に間に合うようにしたい。

(会長)

次回の会議でスケジュールを出してほしい。また、今までと同じように募集をしたら、今回と同じような結果に終わってしまう。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ 1 団体から 1 名は変わらないのか？
→ 変わらない。その理由は前回もご説明したが、この会は団体間の意見交換ができる交流の場という意味を持たせるためである。参加団体を増やすことが目標である。
- ・ 新しい人が参加するには新年度からの方が入りやすいと思うので、たくさんの方に入ってもらえるように、準備もお願いしたい。期間も十分とってほしい。わたし達もここに入っていない団体に呼びかけていきたい。
- ・ 通知はここに参加していない団体に出すのか？
→ そうである。前回、ご指摘いただいたように、団体間の意見交換ができるということも PR したい。またいろいろな団体があるということなので、そこに通知文を送ることも考えたい。
- ・ 図書館は何団体把握しているのか？
→ 20 団体ぐらいである。
- ・ この会で 20 団体を教えてもらえれば、この会でそれ以外の団体を出していくことができる。
- ・ 小学校での活動団体もある。
- ・ 例えば学校や学校図書館に募集の案内を出す方法があると思う。

(会長)

次回にスケジュールと方法を出してほしい。それについての意見が言える。

その他の情報交換

- ・ 文庫連だより、10月号と11月号をお持ち帰りください。

次回の日程 平成31年1月24日(木) 午後1時30分～3時30分
本館2階 講座室

(3時30分終了)